



けんしゅうしましよ

算数 単元名 分数をくわしく調べよう
児童 こもれび学級2組 3年生 5名
4年生 3名
授業者 佐藤 太紀



12月8日(金)3校時、こもれび2組において、研究授業が行われました。2つの学年の児童が、それぞれの目標に向かって学ぶための手立てが、たくさん盛り込まれた授業を見せて頂きました。授業を公開して下さいました佐藤太紀先生、ありがとうございました。

◇グループ討議から◇

◆ICTの活用、教材の工夫

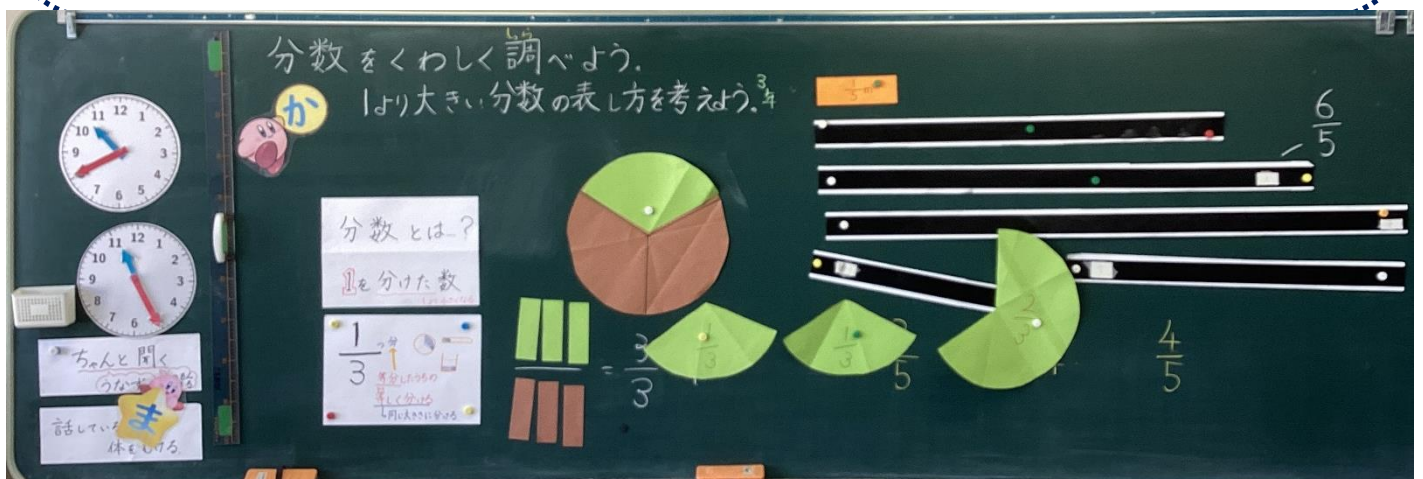
- ・複数学年での学習だったので、ICTを上手に活用することで、待ち時間が短縮されていた。
- ・ノートに書く実際の動きがテレビに映されたことで、児童がどう書けばよいのかがわかった反面、分数の書き方など、ノート指導の重要性も再確認できた。
- ・視覚的な教材の工夫が見られた。ピザやテープ図、5分の1mくんなど展開につながる細かい布石が随所にあって、児童が学びの振り返りに生かしたり、主体的に課題を考えるためのヒントにしたりすることができていた。

◆学び合う姿について

- ・こもれび学級の学習形態を見ることができ、とても意義のある学びの多い時間だった。
- ・複数学年があったことで、自然と教え合う姿や関わり合う姿が見られたよかった。「これをこうしてやろう。」や「ここに置いて、次はここから・・・」などと声を掛け合ったり、協力したりしながら取り組んでおり、一緒に学習しているよが見られた。
- ・活動中の「協力してやっごらん」という中で、人と関わらせることがねらいなのであれば、具体的な指示が必要。

◆算数的な考えについて

- ・分数の学習では、ピザを使うことがやはり効果的であった。
- ・算数的活動があって児童の意欲も高まっていた。
- ・「5分の1mくん」を使い、意識付けてしていたことで「5分の1mをもとにして考える」というまとめにつなげやすくなったのではないだろうか。一方で、黒テープへの書き込みが、「5分の6」のように書いていたので、「5分の1mをもとにして」をもう少し強調させるのであれば、その書き込み枠を「5分の1mが〇こ分」のように作っていてもよかった。



道徳 主題名 分かり合う心
 中心内容項目 B-11
 相互理解, 寛容
 資料名 たまちゃん, 大すき
 授業者 高山 陽輔

12月11日(月)5校時, 3年1組
 において, 研究授業が行われました。授
 業を公開して下さった高山陽輔先生、
 ありがとうございました。ICTの活用に
 おける可能性を感じる事ができた学
 びの多い時間でした。



◇グループ討議から◇

◆ICTの活用

- 自分の考えをもつ, 他者の考えを取り入れるなどの活用の意図をもって使っていくことがとても大切で, ICTを取り入れた授業の展開のヒントをもらった。
- 視覚的に理解できるよさがあった。同じ考えが誰で, 違う意見が誰なのかも分かりやすく, 交流時の参考になっていた。
- テキストマイニングを使用したことで, 時間を生み出す工夫の一つとして効果的であると感じた。児童のどんな考えが多く出ているのかがわかりやすかった。
- タブレットのよい点とよくない点を十分吟味しつつ, 活用していくことが大切だと改めて感じた。

◆授業について

- 挙手なしで, 発言できる児童の実態や学級の雰囲気があるので, もっと早く教材から離れ, 自分で話させる時間をとってよかったかもしれない。アンケートからも素直な児童の感想や考えが出ているので, そこをもう少し拾った上で課題に入るとさらによかったのではないだろうか。
- 指導案上の流れやテーマ発問の設定がよく, 問い返しの発問もよかったので, 時間との兼ね合いがとれば, 共通解につながったのではないだろうか。例えば, 本授業では, 「仲良くする=あやまる」に児童の考えが終着していたので, まる子がたまちゃんに感じた思いやたまちゃんの気持ちを想像したこと, 反対に, たまちゃんがまるちゃんの思いに触れた場面をしっかりと扱うことで, 「相手のことを考える」という予想していた共通解につなげることができたのではないだろうか。

